

取組事例 4

ITフリーランスの メンタルヘルスのリテラシー向上を支援 ITフリーランス支援機構 全国労災保険センター

ITフリーランスを支援
する団体です

団体概要



ITフリーランス支援機構
Japan Agency for IT Freelance

所在地 : 東京都港区
会員数 : ITフリーランスを中心に261名
(2023年8月10日現在)
事業内容 : ITフリーランスが労災保険へ加入する
ための特別加入団体を運営
申請年度 : 令和4・5年度

活用の 背景と目的

ITフリーランスエンジニアは、自身のメンタルヘルスの状況に気づけていないことが多いことから、リテラシー向上のために、助成金を活用してセミナーを開催することにした。

申請するまでの流れ

時期	実施したこと
令和4年度分申請	
令和5年1月上旬	助成金の存在を知り、利用を検討
令和5年1月中旬	助成金の申請書類を作成・申請
令和5年1月下旬 ～2月上旬	健康教育研修を実施
令和5年度分申請	
令和5年5月・6月	サービス提供会社と調整
令和5年7月中旬	助成金の申請書類を作成・申請
令和6年1月下旬まで	健康教育研修の実施及び相談窓口開設（予定）

会員に提供するサービスの内容

令和4年度実施内容

- メンタルヘルスセミナーの実施（リーフレット裏面の申請サービス⑦）
 - ・ 公認心理師からメンタルヘルスをテーマとした健康教育研修を実施。

令和5年度実施内容

- メンタルヘルスセミナーの実施（リーフレット裏面の申請サービス⑦）
- 相談窓口の開設（リーフレット裏面の申請サービス④）
 - ・ 労災防止セミナーとして食生活入門、睡眠セミナー、セルフケアをテーマとした健康教育研修をそれぞれ実施予定。
 - ・ メンタルヘルス不調者の早期発見と治療開始を促進することを目的として、公認心理師等の心理専門職と相談できる窓口を開設予定。

取組の成果

効果測定はできておりません。

ITフリーランスが自ら加入しておりますのでともともと労災加入者の意識は高いと思っております。継続することで、労災保険センターの加入者からの私共労災保険センターへの信頼性や満足度も上がると思います。

申請に当たり 苦労した点

書類の多さで最初はびっくりしましたが、読み込む事で記入や提出書類はさほどでもないことが分かりました。でも、読み込み理解するのに時間がかかったので、出来れば説明会などを開催していただければ助かります。

これから申請 を検討してい る団体への アドバイス

予算面にて大変助かっております。上限こそありますが8割(※)を補助していただけることにより計画も立てやすくなります。セミナーを実施するにも、相談窓口を開設するにも大きな金銭負担が発生します。

2年連続で実施されたので大変助かります。

(※ 令和5年10月1日から8割助成から9割助成に改正しています。)

